

かけがえのない区民の宝 墨東病院を都立のままです



院長と懇談する、左から斉藤・あぜ上・そえや区議

4月14日、共産党区議団は都立墨東病院を訪問。小林院長、林事務局長と懇談、周産期医療施設を視察しました。

この間の新生児医療の発達にはめざましく、新しい薬や機械（保育器・人工呼吸器・呼吸心拍モニターなど）が開発され、いまでは1000g以下で生まれても10人中9人まで救命できるようになりました。

も感動的でした。都立だからこそ出来る手厚い救命医療が行われています。

しかし常に緊張感をもっていのちを守っている医師の当直体制が、なんと一人という現状は直ちに改善が必要で、

石原都政も都立病院への運営補助費を5年間で102億円も削減、都立小児病院など16の都立病院を閉鎖、統合などを進める都立病院改革「マスタープラン」をすすめています。

4月16日、IOC評価委員会一行が来日しました。五輪招致の東京視察が目的です。江東区内の学校や商店街に旗幟、横断幕、競技会場予定地には学童・生徒が動員され、歓迎一色の演出です。▼世界のスポーツ祭典には競技施設、財政・環境とともに市民の熱意が欠かせません。ところが、雇用、医療・介護難民が増えている東京の世論は、招致委員会の調査でも69%の賛成、開催に立候補した他の都市に比較して最低といわれています。▼さらにBC776年のオリンピックからの理念は平和です。16日の記者会見で英国人記者が石原知事に質問しました。「韓国では『知事が日本の歴史的残虐行為を否定していない。東京は五輪には選ばれない』と批判している」と。この発言を否定しない知事に記者は驚いたと語りました。

議会報告

今年度提出の予算修正案についての審議では、「なぜオリンピック誘致に反対なのか」（自民）、「コミュニケーションパスの運行はわが党も繰り返してきているのか。都と調整しているのか。具体性に欠ける」（公明）、「将来の財源はどのように考えているのか」（民主）、「民間委託中止（学校給食・保育園調

理）や高齢者施策は評価するが、同和予算は必要と認識している」（市民）などの意見が出され、すべてに答えましたが、否決されました。

共産党の予算修正案が区民要求実現の大きな力に

「これまでに実現した主なもの」

21年度予算では

自公政権は、02年以降毎年、社会保障予算の自然増を2200億円も削減、すでに1兆6200億円の医療費抑制政策をすすめてきました。

その結果、医師・看護師不足が深刻になり、江東区でも2つの病院が病院機能の閉鎖においこまれました。

新生児特定集中治療室NICUとは？
病院において早産児や低出生体重児、または何らかの疾患のある新生児を集中的に管理・治療する部門。



墨東病院前で宣伝・署名行動

「都立のままを」の世論と運動がますます重要になっていきます。

平和・くらし風土記 39

今につながる大恐慌と 工女たちのたたかい

1929年10月24日、ニューヨーク株式市場を大暴落が襲い、世界大恐慌が翌年日本にも波及し、東洋モスリン亀戸工場をはじめ全国で紡績労働運動史上に残る大ストライキが繰り返し行われました。その背景には価格が半になるなど生糸の大暴落がありました。

生糸の輸出先は、第一次世界大戦後、1929年にはアメリカ向けが96%を占め、アメリカ依存の生糸輸出は一気に深刻な不況となり人員削減が横行したからです。

その頃の工女の状態を作家の佐多稲子がルポで、工女の言葉で次のように書いています。「いそがしいときは台の回転が早くなるから、一日、10里も歩く」「制服は自分で買うのです」「作業服を洗う洗濯石鹸も自分で買います」「食費は食べても食べなくともとられる」「健康保険は毎月掛けているんだけど、まだ健康保険の給付を買った人を聞いたことがない」「寄宿舍の私の部屋は14畳半で13人います」。



そして工女が帰る村は、繭価と米価の下落で困窮し、工女は帰る場所もなく闘うしか生きる道はなかったのです。

1930年、東洋モスリン亀戸工場では従業員2482人(内女性2062人)が大量解雇反対でストライキに突入、亀戸住民の支援にも支えられ果敢に闘ったが敗北、そして翌1931年、日本帝国主義は「満州事変」を起こし侵略戦争を開始しました。

しかし今日では、雇用と生活を守る闘いが「大企業・大銀行応援でなく、国民のくらし応援を」、「外需だのみから内需主導へ」の政治・経済闘争と一体となり、日本社会を変える未来ある運動として大きく広がろうとしています。

- 介護付有料老人ホーム
 - 茨城県 4施設 13人
 - 群馬県 1施設 1人
 - 千葉県 1施設 1人
- 住宅型有料老人ホーム
 - 江戸川区 1施設 1人
 - 千葉県 1施設 2人
- 高齢者専用賃貸住宅
 - 茨城県 5施設 14人
 - 埼玉県 2施設 2人
 - 千葉県 1施設 1人
- 宅老所等
 - 静岡県 1施設 2人
 - 群馬県 1施設 1人
 - 栃木県 1施設 1人
- 民間宿泊所
 - 埼玉県 1施設 5人
- その他
 - 茨城県 1施設 2人
- 合計 21施設 46人
- 09年1月1日現在

施設を運営する特定非営利活動法人「彩経会」高桑理事は記者会見で、「主な原因は安全・管理体制の不備によるもの。事故は防げた。欠陥施設との認識はあった」と謝罪しています。

この痛ましい事件の犠牲者に都民6人があふまれていた事実から、計らずも所得の少な

また27日、河野都議は都の平成21年度予算案に対する討論の中で「東京都の歳出決算額にしめる老人福祉費の割合

江東区の実態は

江東区では、日本共産党区議団が調査した江東区福祉事務所の資料によると、上の表のようになっています。この機会に必要な実態調査と対策が求められています。

は、石原知事就任時には全国2位だったのが、08年には47位と全国最低に転落。

そのうえ、来年度予算では特別養護老人ホーム整備の用地費助成を廃止しようとしていることは許されない。全国に先駆けて福祉を切り刻み、公的責任を投げだしてきた」と石原都政の異常な姿を厳しく追及しました。

江東の09春闘

地域経済と雇用・くらし



「生活が苦しい」と、まともな人間らしいくらしをするための切実な要求です。

しかし、不況のもとで経営の実態と組合の要求との隔たりが大きく、ほとんど妥結していません。

「許すな派遣切り」と大書された横断幕が掲げられ、今春の国民春闘の平均賃上げ要求額は2万6668円。組合員の65・2%が

「非正規労働者」と連帯して

さらに、賃金や労働条件を引き上げるため、増え続ける非正規労働者とも連帯してたたかいました。

この春闘では、区職員の勤務時間短縮とともに、公共一般は非正規職員も週30時間以上勤務する場合は、一日15分、賃下げなしの時間短縮を勝ち取りました。パート職員には、一日の通勤交通費400円だったのが、都バス一日乗車券が購入できる500円が支給されることになりました。

この施設は老人福祉法で義務付けられている施設実態報告書の提出を二回にわたり拒否、三回目に提出したのに基づき23日に県が立ち入り調査を予定していた矢先の悲劇でした。

当時、徘徊防止のために出入り口に南京錠や突っつい棒をしていったといっています。

日本共産党の吉田都議は24日の都議会予算特別委員会で、23区の実態を独自に調査し確認された限りの、都外施設11箇所515人、都内施設32箇所144人の入所状況を示し、入所者の声も紹介。

「行き場のない生活に困る高齢者を『食い物』にするような『貧困ビジネス』が横行している」と指摘。「低所得の独居老人が増えている。特別養護老人ホームなど公的施設の整備を急ぐべき」などを要求しました。

江東区労連は「対話と共同・区内労組訪問行動」を4回にわたり実施、135労組を訪問しました。そして3月19日、江東区労連、全印総連、新聞印刷共闘の三者合同、20団体150人のデモから江東の09春闘は開始されました。

デモ行進の先頭には「賃上げで内需拡大を」「守ろう、雇用とくらし」「許すな派遣切り」と大書された横断幕が掲げられ、

影響を受ける印刷・タクシー・運輸などのサービス産業や下請け企業の組合で、会社からの賃下げ提案や残業ゼロで年収がダウンします。貸し渋り、貸しはがしや下請け単価引き下げなど、銀行、大企業の横暴な圧力を止めさせる制度要求の運動にとりこんでいます。

都議会で追及

日本共産党都議団

日本共産党の吉田都議は24日の都議会予算特別委員会で、23区の実態を独自に調査し確認された限りの、都外施設11箇所515人、都内施設32箇所144人の入所状況を

3月19日の深夜、群馬県渋川市北橋町の老人入所施設「静養ホームたまゆら」の火災で、入所者10人が焼死しました。

この施設は老人福祉法で義務付けられている施設実態報告書の提出を二回にわたり拒否、三回目に提出したのに基づき23日に県が立ち入り調査を予定していた矢先の悲劇でした。

日本共産党の吉田都議は24日の都議会予算特別委員会で、23区の実態を独自に調査し確認された限りの、都外施設11箇所515人、都内施設32箇所144人の入所状況を

東京の現代版「姥捨て山」

5月の行事案内

- 6日(水) 12時
 - 原水爆禁止国民平和行進、夢の島第五福竜丸展示館前
- 17日(日) 11時
 - 江東年金者組合定期大会、土建江東支部会館
- 22日(金) 18時
 - 江東革新懇医療問題シンポジウム
- 文化センター3階
 - 22日(金) 18時30分
 - マンシヨン相談会
 - 文化センター3階
- 31日(日) 11時
 - 江東区労連大会
 - 土建江東支部会館